



NO. 373

2024. 7. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 長谷川 美智代
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<https://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

令和6年度(一社)全国手をつなぐ育成会連合会 通常総会が開催されました

理事長 長谷川 美智代

6月21日に令和6年度一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会の通常総会が、東京で開催されました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、今回は総会終了後、栄典評価推薦団体復帰並びに久保顧問叙勲の祝賀会が開催されるということもあり、会場は晴れやかな雰囲気にも包まれていました。

最初に佐々木会長よりご挨拶があり、国の審議会に参画している知的障がい者の会は、日本で唯一育成会だけ。声を届けるのが育成会の役目だが、若い家族が何を求めているのかを把握しておかなければ、訴えることができない。(育成会の活性化に向けた)近畿で開催しているリーダー研修会のような活動を各地でも取り組んではどうかと思っていると話されました。また、来年の全国大会は東京で11月8日、9日に予定とのことでした。



【佐々木会長(左) 久保顧問(右)】

続いて又村常務理事より、令和5年度事業報告、収支決算報告について説明があり、令和5年度に取り組んだ主要事項として、以下の4点を挙げられました。

(1) 第8回全国大会愛媛大会の開催

全国大会愛媛大会については、当初は令和2年度の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って開催時期が大幅に変更されての開催となりました。4年ぶりに分科会を伴う2日間プログラムの全国大会を開催することができ、大会にはスタッフを含め1,134名の参加があり、会場の各所で旧交を温

める様子が見られました。

(2) 知的障害者の組織運営参画等に関する合理的配慮研究事業スタート

全育連は、一貫して育成会活動が知的障がい者本人の社会参加と権利擁護を掲げており、この柱を軸とした運動を進めてきた結果、例えば障害者虐待防止法や障害者差別解消法の創設、成年後見制度の抜本的な見直し議論などを実現することができました。他方で知的障がい者の社会参加を具体化するためには、知的障がい者本人が理事等で参画できるような支援体制の構築が求められます。そこで、会議等における知的障がい者への合理的配慮の在り方を研究提言する「知的障害者への組織運営参画等に関する合理的配慮研究事業」を立ち上げ、本格的な議論が令和6年度からスタートします。

(3) KAIDDとの新たな交流協定締結

全育連と交流協定を締結しているKAIDD(韓国知的障害者福祉協会)との相互訪問交流については、新型コロナで往来が途絶えていましたが、双方の会長が交代したこともあり、社会情勢の変化も踏まえた新しい交流協定を締結しました。KAIDDの皆さまを日本へお招きし、新たな協定の締結式を実施したほか、鑑賞支援が実装された演劇鑑賞や知的障がい者のアート活動の視察をしていただき交流を深めることができました。令和6年度については、訪韓して交流を深めることとなります。

(4) 新型コロナ5類化に伴う運営体制の平常化

新型コロナの感染症法における位置づけが「5類」となったことを受け「新型コロナ対策本部」を解散しました。そして、新型コロナによる特例を受けて会長職を延長した久保厚子氏が会長を退任して顧問へ就任し、新たに副会長であった佐々木桃子氏が新会長へ就任しました。佐々木会長が副会長からの着任となり、副会長が1名欠員となりましたが、令和6年度の通常